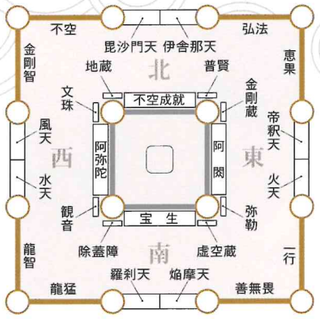
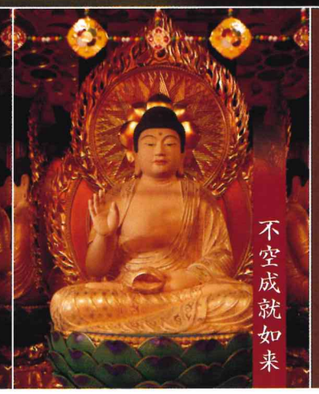
日本最北端に建つ
高さ33.3mの木造「五重塔」

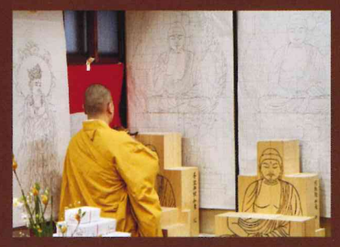
世界最古の木造建築は法隆寺五重塔で
1300年経っています
木造五重塔は国内には数十基が存在しますが
そのほとんどが国宝か重要文化財に指定されています
現在日本で最北端に建つのが弘照院五重塔です
特に寒冷地北海道では風雪が強く
木造五重塔建立は困難と言われていましたが
厳しい気象条件をすべてクリアの上 建築許可を取得
古来よりの伝統工法を熟知した棟梁と
宮大工集団の最新技術が加わり
地震・風・雪に備えた
千年の時を見守る構造となりました
また日本一美しいと言われる
本山京都醍醐寺五重塔(国宝)の壮麗な姿を参考に
力強さと美しさを兼ね備えた
北の大地に相応しい塔としました
寺院の象徴として歴史的建造物として
仰ぎ見る人々の崇高な気持ちの中に
「希望と安寧」をもたらし
長く歴史を刻んで行く塔となるでしょう



弘照院 五重塔の仏像・
真言八祖像・
八大天像配置図



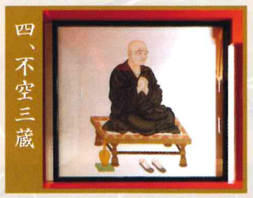
五重塔仏像の鑿入れ式が
NHK「美の壺」で放映されました



◆鑿入れ式(京都大仏師、松久宗琳佛所にて)

真言八祖像

真言密教において その教えを正しく
受け継ぎ守り伝えた八人の祖師を
「真言八祖」と呼び 尊崇しています
その偉大な功績を仰ぎ 報恩感謝の
誠を捧げるために 真影(しんえい)を
掲げて供養を営みます



八大天像

八天の神々は 仏法
と仏教徒を守護する
「護方神」としての役
割を担っています
それぞれが特定の方
位を守護し その方位
からの災厄を防ぎ平
安をもたらすとされ
ています
(種字は総本山醍醐寺
第104世
壁瀬宥雅座主揮毫)